

# 亀山地区コミュニティ協議会

## 団体の紹介・活動の目的

亀山地区は、川内川下流域右岸に位置する約3,600世帯、人口7,600人が住み、宅地造成が進みながらもまとまった農地が広がり、また、神社、山陵といった史跡や、商業施設、大手製紙工場等が所在する、生活と環境、歴史が調和された地区です。

当地区の有する多面的な機能を生かし、地域コミュニティ活性化のための活動を展開しています。現在は、令和元年度に策定した第4期地区振興計画に基づき、「歴史と文化に親しみ人と自然を調和させ 暮らしきらめく亀山」を目標に、自主学級や各部会の魅力を最大限発揮し、関係団体とも連携を図りながら、防災、青少年育成、社会福祉、体育、生涯学習、環境保全といった様々な分野においてコミュニティ活動に取り組んでいます。

## 連携・協力している団体など

○地区内の20の自治会 ○小中学校 ○民生委員 ○消防団  
○消防後援会 ○薩摩川内市 ほか様々な関係団体の皆様と連携して活動しています。



### 【文化祭】

協議会の自主学級や生涯学習のほか、地元の幼稚園、小中学生や社会福祉施設で作成された作品も多数展示され、多くの方に観覧いただき、芸術の秋を彩っています。



### 【史跡ウォッチング】

地元の学校と連携して、自分の住む地域を知ってもらい、また心休まる居場所になるように、地区の史跡探検を行っており、子どもたちの賑やかな声が溢れています。

## 活動の内容

美しい景観づくりのための川内川河川敷の清掃や耕作放棄地の解消、菜の花やひまわりなどの季節に応じた花の植栽といった「環境保全事業」、地元の小中学校と連携した学習田や史跡ウォッチングなどの「青少年育成事業」、水彩、料理など、19学級の多様な自主学級をはじめ、様々な分野でコミュニティ活動に取り組んでいます。

コロナ禍においても、屋外でのグラウンドゴルフ大会や収穫祭、展示を中心とした文化祭など、地区住民の交流と自主学級や生涯学習の成果を披露する場の大切さを思い、感染防止対策を講じながら活動に取り組んでいます。

薩摩川内市市民活動情報サイト

「亀山地区コミュニティ協議会」紹介ページ



### 【美しい景観づくり（耕作放棄地の解消）】

耕作放棄地となった田んぼや畑を耕して、一部は「フラワーランド」として季節に応じたひまわりや菜の花を植えており、開花の時期には満開の花が美しく咲いています。



### 【収穫祭】

協議会で栽培した芋と地元の小学生が学習田で育てたお米をかまどで炊いた芋ご飯や豚汁の提供、餅つき大会、地区の生産者が育てた野菜等を販売する軽トラ市を行っています。